

7/29-8/4 #2 接ぎ木された命 Bird's Eye View 私たちはキリストにある信者として、接ぎ木された生活を生きるべきです。この生活の中で、私たちは主と一つ霊であり、主との有機的な結合の中で生きます 1コリ6:17 しかし、主に結合される者は、主と一つ霊になります。

I 聖書は、神が人と持つことを願う関係が、神と人が一となることであることを啓示しています **A** 神は、神聖な命と人の命が共に結合されて一つの命となることを願っています。 ヨハネ15:5 私はぶどうの木であり、あなたがたはその枝である。人が私の中に住んでおり、私もその人の中に住んでいるなら、その人は多くの実を結ぶ。私を離れては、あなたがたは何もすることができないからである。 **B** この一は有機的な結合、命における結合、接ぎ木された命です。 **C** 神聖な命と人の命が接ぎ木されて一になるという概念は、奥義的であって、天然の観念を超えており、人の思考にとって異質なものです。 **III** 接ぎ木によって、二つの似た命は結合され、そして共に成長します ローマ11:17

ところが、もし枝の中のあるものが折られて、野生のオリーブの木であるあなたが、彼らの間に接がれ、オリーブの木の根の豊かな養分に共にあずかる者となったとしても、18 それらの枝に対して誇ってはなりません。しかし、あなたが誇るのではなく、根があなたを支えているのを覚えていなさい。 **A** 接ぎ木は、接ぎ木される命が似ているときにはじめて、有効となり得ます。 **B** 私たちの人の命は、神のかたちに、神の姿にしたがって造られたので、神聖な命に結合されることができます。 **C** 私たちの人の命は神聖な命と似ています。ですから、神聖な命と人の命は共に接ぎ木され、そして共に有機的に成長することができます。 **IV** 私たちがキリストの中へと接ぎ木されるために、彼は肉体と成ること、十字架、復活の手順を経過しなければなりませんでした

A キリストが肉体と成って、ダビデの子孫、ダビデの枝、若枝となったのは、私たちが彼と共に接ぎ木されるためでした。彼が私たちであるのと同じになったのは、彼と私たちが共に接ぎ木されることができるためでした。 **B** キリストは十字架上で「切られ」ました。それは、私たちが彼の中へと接ぎ木されることができるためでした：ローマ6:5 もし私たちが、彼の死の様の中で彼と結合して生長したなら、彼の復活の様の中でも彼と結合して生長するのです。 **1** キリストがダビデの枝になったということだけで、キリストが私たちと共に接ぎ木されることができるということを意味するものではありません。 **2** 接ぎ木することは切ることを必要とします。二本の枝は、両方が切られることがなければ、共に接ぎ木されることはできません。 **a** キリストは十字架上で死なれたとき、切られました。 **b** 私たちは悔い改めて主を受け入れたとき、切られました。 **3** 切られた後、

結び合わせることに有機的な結合が起こります。ですから、私たちは接ぎ木されることの中で、切られることと、結び合わされることと、有機的な結合を持ちます。 **C** キリストは十字架上で切られた後、復活させられて命を与える霊と成りました：1コリ15:45 「最初の人、アダムは、生きた魂と成った」と書かれています。最後のアダムは、命を与える霊と成ったのです。

1 キリストはそのような霊と成ることによって、接ぎ木される用意ができていました。 **2** いったん私たちが悔い改めて主を受け入れると、主は命を与える霊として、私たちの霊の中へと入り、神聖な命を私たちの中へともたらします。そして私たちは、キリストと共に接ぎ木されます。 **a** この命は、死と復活の命です。 **b** キリストは命を与える霊として、私たち信者の中へと死と復活のかぎをもたらし、私たちがキリストと共に死んで復活させられるようにします。 **C** 私たちはこの死と復活の中で、キリストと共に接ぎ木されます。 **V** 私たちは再生された者として、接ぎ木された命を生きるべきです。その命の中で、双方は結合されて有機的に成長します

A 私たちは、キリストの中へと接ぎ木された後、もはや自分自身によって生きるべきではありません。むしろ、私たちは霊なるキリストに私たちの中で生きていただくべきです。ガラテヤ2:20 私はキリストと共に十字架につけられました。生きているのはもはや私ではありません。キリストが私の中に生きておられるのです。そして私は今、肉体の中で生きているその命を、私を愛し、私のためにご自身を捨ててくださった神の御子の信仰の中で生きるのです。 **B** 私たちはもはや自分の肉によって、あるいは天然の存在によって生きるべきではありません。むしろ私たちは、自分の再生された霊、キリストに接ぎ木された霊によって生きるべきです。ローマ8:4 それは律法の義の要求が、肉にしたがってではなく、霊にしたがって歩く私たちにおいて、満たされるためです。 **C** 私たちはこのように接ぎ木されることを通して、彼と結合され、彼とミングリングされ、彼と合併されて、キリストのからだとなります。

VI 接ぎ木された命は、交換された命ではなく、人の命と神聖な命とのミングリングです **A** 交換された命という観念は、私たちが自分の人の命を主に明け渡して、主がそれをご自身の神聖な命と置き換えてくださるというものです。 **B** クリスチャンの命は、交換された命ではなく、接ぎ木された命、人の命と神聖な命とのミングリングです：ローマ6:4 こういうわけで、私たちは彼の死の中へとバプテスマされることを通して、彼と共に葬られたのです。それは、キリストが御父の栄光を通して死人の中から復活させられたように、私たちも命の新しさの中を歩くためです。 **1** そこには、命の交換や取り換えはありません。 **2** 交換するのではなく、神聖な命を人の命の中へと分与し注入して、神聖

な命を人の命とミングリングします。C クリスチャンの経験の中で最も素晴らしい実際は、キリストにある信者たちが命の方法でキリストと結合されることです：1 キリストであるものは何であれ、またキリストが行なったことは何であれ、完全に一つの事のためです。すなわち、キリストと私たちが有機的に結合され、接ぎ木された命を生きることができるためです。2 主は彼の回復において、接ぎ木された命というこの軽視された事柄を回復しつつあります。VII 接ぎ木された命の中で、人の命は除き去られるのではなく、神聖な命によって強められ、引き上げられ、豊かにされます。ローマ11:17 ところが、もし枝の中のあるものが折られて、野生のオリーブの木であるあなたが、彼らの間に接がれ、オリーブの木の根の豊かな養分に共にあずかる者となったとしても、A 接ぎ木された命の中で、枝はなおもその同じ本質的な特徴をとどめています。その命はさらに良い命へと接ぎ木されることによって、引き上げられ造り変えられます。B 接ぎ木された命の中で、神聖な命が私たちの内側で働いて、消極的な要素を排除します。C 接ぎ木された命の中で、神聖な命は神の当初の創造を復活させます。1 神は、彼の創造を放棄する代わりに、それを取り戻されます。2 神は、私たちの存在のすべての面を復活の中へともたらすことを意図しています。a 神聖な命は、消極的なものを排除するとき、働いて神の当初の創造を復活させます。b このようにして、私たちの本来の機能(創造のときに私たちに与えられた機能)は、回復され、強められ、豊かにされます。D 接ぎ木された命の中で、神聖な命はキリストの豊富を私たちの内側の各部分に供給します。1 私たちの、復活させられ、引き上げられた器官は、キリストの豊富をもって供給されます。2 私たちはこのような供給を通して、私たちの思い、感情、意志において更新されます。E 接ぎ木された命の中で、神聖な命は私たちの全存在に浸透します。1 キリストの豊富は、私たちに浸透し、私たちが造り変えます。2 神聖な命のこの浸透によって、私たちはキリストのかたちに同形化されます。CP1 接ぎ木された生活の中で、主と一つ霊であり、主との有機的な結合の中で供給されて実を結ぶ。I 私たちはキリストにある信者として、接ぎ木された生活を生きるべきです。この生活の中で、私たちは主と一つ霊であり、主との有機的な結合の中で生きます。II 聖書は、神が人と持つことを願う関係が、神と人が一となることであることを啓示しています。A 神は、神聖な命と人の命が共に結合されて一つの命となることを願っています。ヨハネ15:4 私の中に住んでいなさい。そうすれば、私もあなたがたの中に住む。枝がぶどうの木の中に住んでいなければ、自分だけでは実を結ぶことができないように、あなたがたも私の

中に住んでいなければ、実を結ぶことはできない。5 私はぶどうの木であり、あなたがたはその枝である。人が私の中に住んでおり、私もその人の中に住んでいるなら、その人は多くの実を結ぶ。私を離れては、あなたがたは何もすることができないからである。B この一は有機的な結合、命における結合、すなわち接ぎ木された命です。C 神聖な命と人の命が接ぎ木されて一になるという概念は、奥義的であって、天然の観念を超えており、人の思考によって異質なものです。III 接ぎ木によって、二つの似た命は結合され、そして共に成長します。ローマ11:18 それらの枝に対して誇ってはなりません。しかし、あなたが誇るとしても、あなたが根を支えているのではなく、根があなたを支えていることを覚えていなさい。A 接ぎ木は、接ぎ木される命が似ているときにはじめて、有効となり得ます。B 私たちの人の命は、神のかたちに、神の姿にしたがって造られたので、神聖な命に結合されることができます。C 私たちの人の命は神聖な命と似ています。ですから、神聖な命と人の命は共に接ぎ木され、そして共に有機的に成長することができます。IV 私たちがキリストの中へと接ぎ木されるために、彼は肉体と成ること、十字架、復活の手順を経過しなければなりません。まことのぶどうの木である主イエスは、すぐれた木です。ある日、あなたは恵みを通して信仰によって彼へと接ぎ木されました。この接ぎ木を軽んじてはいけません。…あなたの命は今、二つの命が接ぎ木されて一にされたものです。あなたがこの栽培されたオリーブの木の根の豊かな養分を享受するとき、あなたの貧弱な命は服従させられ、あなたは繁茂し始めます。…一種類の命が別の命に接ぎ木されるために、その二つの命はとても似ていなければなりません。例えば、バナナの木を桃の木に接ぎ木することはできません。しかしながら、貧しい桃の木の枝が、健康で実のなる桃の木に接ぎ木されることはできます。なぜなら、これら二つの木の命は、互いにとっても近いからです。この原則を、神聖な命を人の中に分与することに適用してもよいでしょう。…その貧しい木の命は、消えるものではありません。むしろ、それは豊かで甘い木の命と、一つの単位として共に成長します。…これは交換された命ではなく、接ぎ木された命です。

適用: 青少年・大学生、新人編

証1 キリストにある信者として、接ぎ木された生活の実際を生きるためには必ず、召会生活が必要であることを証します。救われたばかりの頃は、家庭集会や主日集会に参加して、主の言葉を享受して、主をエンジョイしました。そして、主の命が少し成長して、からだの奉仕を実行し始めた時、召会

生活の中で、接ぎ木された命を生きる模範を見ることで助けられました。福音を伝え、牧養する生活は、接ぎ木された命の中で、自分の魂の命を否み、時間や体力、全存在を主に捧げないと、実行できないことが分かるようになりました。奉仕にあずかる時はいつも、ヨハネ15:4と5の御言葉を思い起こすようにしています、「主はまことのぶどうの木であり、私はその枝である」、「主を離れては、私は何もすることができない」。奉仕や生活のあらゆることにおいて、主の中に住み、主に委ねることで、主と一つに結合されて、接ぎ木された命を生かし出すことができることを主に感謝します。証27月中旬に台北61集会所の兄弟姉妹が訪問してくださった時、私の家で昨年救われたご夫婦と小学生の男の子2人を接待しました。この家族の証をします。救われる前、姉妹は何に対しても心配して喜びがなく、子供たちには厳しく躰をしており、家庭内は緊張感に満ちていました。夫婦喧嘩が絶えなくて、その関係は壊れかけていました。しかし昨年2月に姉妹が福音を聞きバプテスマされてから、その状況は変わりました。毎朝御言葉を享受し、日ごとに新しくされ、召会生活を享受している姉妹を見て、兄弟も朝の祈り読みに参加し始め、御言葉を享受するようになりました。昨年4月のある日、家族全員で子供小組に参加した時、兄弟もバプテスマされました。その後も毎日主の言葉を食べ飲みし、あらゆる召会の集会やブレンディングに参加し、その中で奉仕もして、召会生活を享受しています。夫婦関係や親子関係は改善され、家庭は暖かい雰囲気になり、喜びに満たされました。そして兄弟姉妹の両親含め家族全員が救われて主に仕えることを願っていると証してくださいました。私自身、家庭内での消極的な状況を自分で改善しようとしてしまい、命が流れ出ておらず、実を結んでいないことを照らされました。主イエスはぶどうの木であり、私はその枝ですので、私は主の中に住まなければ実を結ぶことはできません。私は枝として主から離れては何もすることはできないからです。

祈り おお主イエスよ、あなたを信じ受け入れた私は、あなたに接ぎ木され、結合されました。私は、あなたの中に住むことによって、豊かに供給されて実を結ぶことができます。私はあなたから離れては何もすることができません。私は接ぎ木された命を生き、命の流れの中で実を結びます。

CP2 接ぎ木された命の中で、

私たちの魂の命は否まれなければならないが、魂の機能は新しくされ、引き上げられ、用いられる

VI 接ぎ木された命は、交換された命ではなく、人の命と神聖な命とのミングリングです **VII** 接ぎ木された命

の中で、人の命は除き去られるのではなく、神聖な命によって強められ、引き上げられ、豊かにされます ローマ11:17 ところが、もし枝の中のあるものが折られて、野生のオリーブの木であるあなたが、彼らの間に接がれ、オリーブの木の根の豊かな養分に共にあずかる者となったとしても、24 もしあなたが、本来は野生のオリーブの木であるものから切り離されて、栽培されたオリーブの木へと、自然の性質に反して接がれたとしたら、まして本来の枝である者たちは、彼ら自身のオリーブの木へとどれほどよく接がれることでしょう! **A** 接ぎ木された命の中で、枝はなおもその同じ本質的な特徴をとどめていますが、その命はさらに良い命へと接ぎ木されることによって、引き上げられ造り変えられます: **1** さらに高い命がさらに低い命を征服します。 **2** さらに高い命がさらに低い命を豊かにし、引き上げ、造り変えます。 **B** 接ぎ木された命の中で、神聖な命が私たちの内側で働いて、消極的な要素を排除します: **1** 神聖な命は徐々に働いて、天然的なものをすべて取り除きます。 **2** 私たちの性情の消極的な要素は殺され、それから主は私たちの性情を投げ捨てるのではなく、それを引き上げ、用います。

神聖な命は、私たちの人の命の欠点や短所を飲み尽くします。これはキリストの命の中に、彼の十字架の殺す力があるので可能です。キリストの命は肉体と成ること、人の生活、十字架、復活を経過したことを、覚えていてください。今や彼の命はこれらすべての成分を含んでいます。この例証として抗生物質を使ってもよいでしょう。抗生物質が病原菌を殺すように、キリストの命の中の殺す要素が、私たちの中の消極的なものを終わらせます。...私たちはただ人の命を明け渡して、キリストの命に置き換えられることを選ぶでしょう。私たちの命は「病原菌」で満ちているので、神聖な命に置き換えられたいと感じるでしょう。これが私たちの方法ですが、それは神のエコノミーにおける方法ではありません。神の方法は、キリストの命が私たちの内側のすべての欠点、短所、「病原菌」を飲み尽くすことです。主イエスに、彼を愛し、彼と一になりたいと言え言いうほど、ますます霊的な抗生物質の殺す力を経験するでしょう。...彼の命の中には養う要素があると同時に、殺す要素もあります。あなたは自分の性情に失望しているかもしれませんが、しかし、キリストの命はあなたの性情の消極的な要素を殺し、彼はあなたの性情を投げ捨てるのではなく、それを引き上げ、用いられるでしょう。

適用: ビジネスパーソン、大学院生編

証 私は接ぎ木された命について、2コリント4:16か

ら助けを受けました。こういうわけで、私たちは落胆しません。それどころか、私たちの外なる人が朽ちていっても、私たちの内なる人は、日ごとに新しくされていきます。FN外なる人は、器官としての体と、命またパースンとしての魂から成っています。内なる人は、命またパースンとしての再生された霊と、器官としての新しくされた魂から成っています。魂の命は、否まれなければなりません。ところが魂の機能、すなわち思い、意志、感情は、征服されることによって、新しくされ、引き上げられなければなりません。その結果、これらは、内なる人のパースンである霊によって用いられることができます。

私は救われた後の大学の四年間、主のために頑張るべきなのか、そうでないのかが分かりませんでした。ある時は、主のために頑張って祝福されましたが、別の時、主のために頑張っても全く主の臨在が無く、祝福されませんでした。私の主に対する経験は、大変不安定で、不確かなものでした。

そのような時、この聖書とフットノートを読んで、クリスチャンが生きるべき接ぎ木された命を理解する助けを受けました。私の魂の命は否まれなければなりません、魂の機能は征服されることによって、更新され、引き上げられる必要があります。これが接ぎ木された命です。従って、私は主に服従して、思いは霊につけられて、主と共に考える必要があります、感情は主が愛するものを愛し、主が憎むものを憎み、意志は力強く主に服し、同時に柔軟に聖霊の動きについて行くことができるべきです。このことを認識して、信仰によって次のように祈りました、「おお主イエスよ、あなたを私の主とします。私は先ずあなたに服従します。その上で、私はあなたに全存在を大きく開きます。あなたの復活の命によって、私の思い、意志、感情に浸透し、引き上げてください。それは、私があるあなたの中で、あなたと共に、あなたのために考え、愛し、決定するためです。このようにして初めて、私はあなたに用いられることができるのです」。

その後、私は接ぎ木された命の中で、会社の中で主と共に働くことを主観的に経験し始めました。また、継続的に安定して、職場で主を経験することができるようになりました。例えば、会社の様々な新製品の導入時に、大きな困難がある時、(誰も解決できない時に)私は主と共に勇敢に問題に立ち向かい、問題を解決し、新製品の導入を成功させることを度々経験しました。ハレルヤ、クリスチャン生活は、「接ぎ木された命の中で、人の命は除き去られるのではなく、神聖な命によって強められ、引き上げられ、豊かにされる」生活です。

神戸に在る教会交わりと報告事項

1. **王子公園駅前学生センター**: 武富晋太郎B・夏美Sが7/20に、学生福音センターとして東出口から10秒のマンション1Fを購入する契約をしました。彼らは学生センターとして使うために購入しました。主を賛美します。9/1(主)からYPの主日集會を本山と王子公園に分けます。基本的に東灘区から東は本山、灘区から西は王子公園になります。YPが増地区することで、若者の人数が増し加わり、青少年がさらにはからだの中で機能を発揮することができるようにお祈りください。
2. **福音集會の順番**: 8月から本山→神戸→魚崎→本山南→YP王子公園→六甲→夙川→三宮→YP本山→六甲の順で基本的に回ります。9月の全国特別集會の時は、ありません。5週目の9/29は、魚崎で合同です。午後の集會は、担当地区の集會所で行います。
3. **召會生活のために次世代を育てるための特別集會**: 8/31(土)、※この集會はZoomのみ。
9:00-10:30 集會1
11:00-12:30 集會2
14:00-15:30 集會3
Zoom ID:871 6093 2348 パスワード:1
※基本的に@本山、六甲に集まって見るようにします。
4. **9月全国特別集會**: 9/14(土)~16(月)
場所: 東京基臨ビル
14(土)14:00-16:00 集會1
15(主)10:00-12:30 パンさきと集會2
14:00-16:00 集會3
16(月)10:00-12:00 集會4
※現地参加申し込み締め切りは、8/4(主)まで。
5. **9月青少年ブレンディング**: 9/14(土)~16(月)
9月の全国特別集會と並行して行われます。
宿泊先: オリンピックセンター
参加費: (青少年)全参加2000円、1泊参加1000円
(一般)全参加7000円、1泊参加4000円。
参加申し込み締め切りは、8/4(主)まで。
6. **9月責任者集會**: 9/16(月)12:30-13:30
場所: 基臨ビル5F